



なんでも削減される
世の中ですが、
この話はうれしい。



一段と快適、なのに、消費電力もCO₂排出量も約80%削減！ オフィスが変わるエアコン、登場。

ダイキンの最新オフィス用エアコン「ECO-ZEAS(エコジラス)80」。一番の特徴は、センサーからの情報を元に4つのフラップが別々に動いて温度・気流を自在に制御する“ECO全自動モード”機能。人を検知すると風の向きと強さを変えて「風当たり」感を抑えたり、寒い日は真っ直ぐ床方向に風を吹き出して足元から素早く暖めたりと、一段上の快適を無駄なくつくりだします。加えて、ダイキンが磨き続けてきた省エネ技術を大結集。15年前の当社製品に比べて消費電力もCO₂排出量も最大で約80%削減しました。人の快適も地球環境のことも考え抜く。その「両立」こそが、ダイキンの仕事です。

※当社試算。15年前の当社一定速機(RV710B)と、新製品の比較(ファンター自動清掃機能搭載機)はR410A(R2006(東京・伊達店舗))に基づく(APF:Annual Performance Factor:過年エネルギー消費効率)排出量における年間消費電力量に加え、更新前空調機のメンテナンスを行っていない場合の経年劣化(汚れ等)による電力消費率(+約25%)も考慮した60%削減はECO全自動モード全稼働した状態での比較。CO₂排出量削減0.00056t-CO₂/kWh(東京部)中東20年度(電気事業省が発表する数値)削減は排出係数等の公表に代り得。

世界中でつくります。なかった空気。できなかった空気。